

◆学校評価アンケート結果について◆

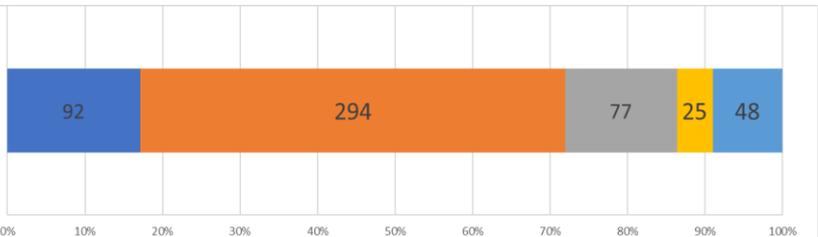
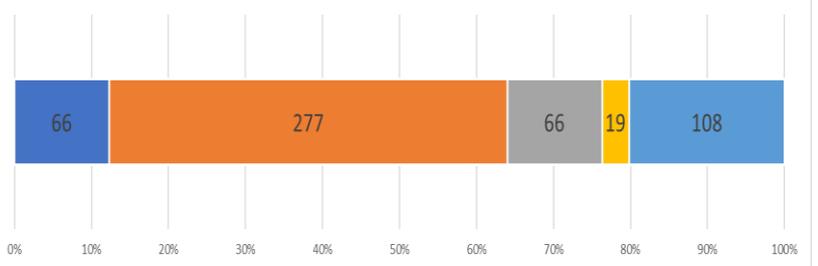
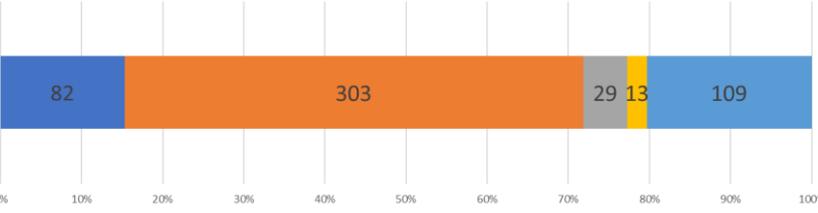
令和4年度 渋谷区立幡代小学校

令和4年12月に実施した本校の教育活動に関するアンケート調査の結果がまとまりましたので、お知らせいたします。児童数で調査し、536通、73.9%の回答をいただきました。ご多用の中、アンケートへのご協力に感謝いたします。
 今回ご回答いただいたアンケートをもとに、来年度の本校の教育活動を改善してまいります。
 なお、質問項目①から⑩は渋谷区共通質問項目で、⑪から⑮は本校独自の質問項目です。

回答の

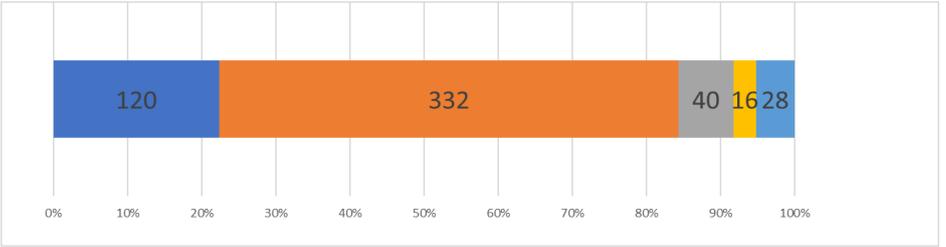
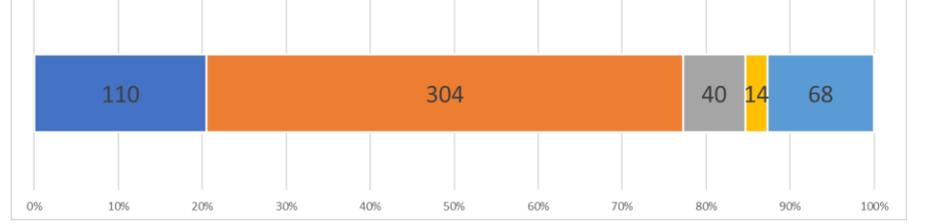
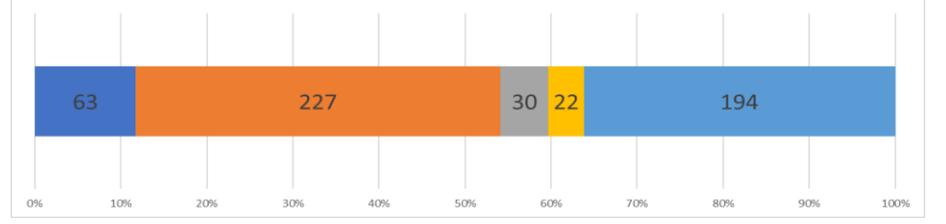
■は「十分達成されている」、■は「達成されている」、
 ■は「あまり達成されていない」、■は「達成されていない」、■は「分からない」を表しています。

1 新たな学びの実現【授業DX】

<p>① お子さんは自ら進んで授業をはじめとした学校の学習に取り組んでいますか。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十分達成されている</td> <td>92</td> </tr> <tr> <td>達成されている</td> <td>294</td> </tr> <tr> <td>あまり達成されていない</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>達成されていない</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	件数	十分達成されている	92	達成されている	294	あまり達成されていない	77	達成されていない	25	分からない	48
回答内容	件数												
十分達成されている	92												
達成されている	294												
あまり達成されていない	77												
達成されていない	25												
分からない	48												
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、72.1%でした。否定的な回答は、19.1%でした。分からないとの回答は、9%でした。 自由意見は、16件ありました。「自主的に学習に取り組む姿勢が身についた」、「はたしろフェスタの練習に励んでいる」、「子供の興味関心を喚起する内容になっている」等の肯定的なご意見をいただきました。 一方で、「授業DXが分からない」、「家庭学習に自主的に取り組むようになってほしい」等のご意見もいただきました。</p>												
<p>② 学校は、お子さんの進度や習熟度に応じた授業や学習支援を行っていますか。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十分達成されている</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>達成されている</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>あまり達成されていない</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>達成されていない</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>108</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	件数	十分達成されている	66	達成されている	277	あまり達成されていない	66	達成されていない	19	分からない	108
回答内容	件数												
十分達成されている	66												
達成されている	277												
あまり達成されていない	66												
達成されていない	19												
分からない	108												
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、64%でした。否定的な回答は、15.8%でした。分からないとの回答は、20.1%でした。 自由意見は、20件あり、「個に応じた指導に感謝している」「細かいところまで宿題を見てくれている」等の肯定的なご意見をいただきました。 一方で、「小テストを行ってほしい」、「学校に登校が難しい児童へのフォローが欲しい」等のご意見もいただきました。</p>												
<p>③ 学校は、子供同士で意見を交換したり、調べたりするなど、協働的・対話的な学びのある授業を行っていますか。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>十分達成されている</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>達成されている</td> <td>303</td> </tr> <tr> <td>あまり達成されていない</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>達成されていない</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>109</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	件数	十分達成されている	82	達成されている	303	あまり達成されていない	29	達成されていない	13	分からない	109
回答内容	件数												
十分達成されている	82												
達成されている	303												
あまり達成されていない	29												
達成されていない	13												
分からない	109												
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、71.8%、否定的な回答は、7.8%でした。分からないとの回答は、20.3%でした。</p>												

	<p>自由意見は5件あり、「授業でグループワークを多く取り入れていることが伝わる」等の肯定的なご意見をいただきました。</p> <p>一方で、「授業形態に工夫が必要」、「子供達の間でディスカッションする機会が常にあるとよい」等のご意見もいただきました。</p>																		
④ 学校は、「シブヤ科」の学習を通して、自らの課題を設定して解決の見通しを考えたり、考えたことを発表したりする学習を推進していますか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Count</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Blue (Left)</td> <td>46</td> <td>46%</td> </tr> <tr> <td>Orange</td> <td>222</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>Grey</td> <td>40</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>Yellow</td> <td>11</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>Blue (Right)</td> <td>217</td> <td>21%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Count	Percentage	Blue (Left)	46	46%	Orange	222	22%	Grey	40	40%	Yellow	11	11%	Blue (Right)	217	21%
Category	Count	Percentage																	
Blue (Left)	46	46%																	
Orange	222	22%																	
Grey	40	40%																	
Yellow	11	11%																	
Blue (Right)	217	21%																	
結果	<p>肯定的な回答は、50%でした。否定的な回答は、9.6%でした。分からないとの回答は、40.5%でした。</p> <p>自由意見は、6件あり、「シブヤ科の授業を見たい」、「教育が変わってきており、子供自ら探究しようとする姿勢など変化がある」、「より探究的な学習に取り組んでほしい。」というご意見もいただきました。</p> <p>分からないという回答が、全ての質問項目のうち最も高い結果となりました。</p>																		
⑤ 学校は、前出の設問1から設問4の授業を推進するために、お子さんのタブレット端末を効果的に使っていますか。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Category</th> <th>Count</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Blue (Left)</td> <td>64</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>Orange</td> <td>251</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>Grey</td> <td>32</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>Yellow</td> <td>32</td> <td>32%</td> </tr> <tr> <td>Blue (Right)</td> <td>157</td> <td>15%</td> </tr> </tbody> </table>	Category	Count	Percentage	Blue (Left)	64	64%	Orange	251	25%	Grey	32	32%	Yellow	32	32%	Blue (Right)	157	15%
Category	Count	Percentage																	
Blue (Left)	64	64%																	
Orange	251	25%																	
Grey	32	32%																	
Yellow	32	32%																	
Blue (Right)	157	15%																	
結果	<p>肯定的な回答は、58.7%でした。否定的な回答は、12%でした。分からないとの回答は、29.3%でした。</p> <p>自由意見は25件あり、「体育の授業でタブレットで動画撮影がよい。」、「パワーポイントを使ってプレゼンテーションの準備しており驚いた。」等のご意見をいただきました。</p> <p>一方で、「タブレットの活用はより実践的なものへと見直しが必要」、「宿題等を基本タブレットで提出するのはどうか。」等のご意見もいただきました。</p>																		
今後の対応	<p>授業 DX (デジタルトランスフォーメーション) とは、渋谷区が進める新たな学びの在り方の一つです。児童がデジタル教科者書を活用して学び、アプリケーション (タブレット端末) を活用して、児童同士が、情報を共有し、学びを広げ、深めていきます。</p> <p>今後、教育 DX の実現に向け、さらに次の5点に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師主導の授業から、児童主体となる授業づくりに取り組みます。 ○教師が児童一人一人に合った指導ができるよう、タブレット端末を効果的に活用します。特別支援教育での活用も充実させます。 ○不登校傾向の児童に対して、校舎内で安心して過ごせる居場所づくりを進めます。 ○生活科や総合的な学習の時間を中心に、地域に結び付いた体験活動を通して探究的な学びを推進します。 ○学校公開の内容を工夫し、「シブヤ科」の取組や児童が友達と学び合う学習場面を学校公開などでご覧いただきます。 																		

2 安心・安全に挑戦できる学校

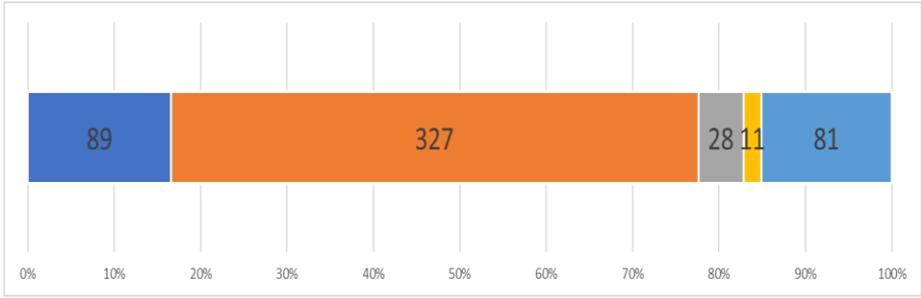
<p>⑥ お子さんは安心して学習に取り組むことができましたか。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>332</td> </tr> <tr> <td>Don't know</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>28</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	120	No	332	Don't know	40	Other	16	Other	28
Response	Count												
Yes	120												
No	332												
Don't know	40												
Other	16												
Other	28												
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、84.3%でした。否定的な回答は、10.5%でした。分からないとの回答は、5.2%でした。 自由意見は 29 件でした。「毎日元気に学校に通い、学校生活を楽しく過ごしている」、「先生に感謝する」等の肯定的なご意見が数多くありました。一方で、「子供たちがよりよい環境で学んでほしい。」、「児童と先生との信頼関係が大切だ」等のご意見もいただきました。</p>												
<p>⑦ 学校は、お子さんや保護者の相談に誠実に対応していますか。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td>Don't know</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>68</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	110	No	304	Don't know	40	Other	14	Other	68
Response	Count												
Yes	110												
No	304												
Don't know	40												
Other	14												
Other	68												
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、77.2%でした。否定的な回答は、10.1%でした。分からないとの回答は、12.7%でした。 自由意見は 20 件でした。「個別の相談を十分に聞いていただいた。」、「先生とコミュニケーション取りながら進めている」等の肯定的なご意見をいただきました。 一方で、「気になることがあった時に、“いつ誰に” 伝えれば良いのかわかりにくい。」、「面談を増やしてほしい。」「先生が子供の話をもっと聞いてほしい」等のご意見もいただきました。</p>												
<p>⑧ 学校は、いじめ対応の方針をお子さんや保護者に明確に伝え、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていますか。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Response</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>No</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>Don't know</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>194</td> </tr> </tbody> </table>	Response	Count	Yes	63	No	227	Don't know	30	Other	22	Other	194
Response	Count												
Yes	63												
No	227												
Don't know	30												
Other	22												
Other	194												
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、53.2%でした。否定的な回答は、9.7%でした。分からないとの回答は 36.2%でした。分からないとの回答が高い割合でした。 自由意見は 2 件でした。「表立った暴力はなくとも、陰湿な暴言が心配である」、「携帯電話（メールや line）に悪口がある」等のご意見をいただきました。</p>												
<p>今後の対応</p>	<p>令和 4 年度の学校方針は、「安全・安心で、一人一人が楽しい学校づくり」を目指してまいりました。保護者の皆様に一定の理解を得られた一方で、ご心配をおかけしている内容も分かりました。今後、さらに安全で安心な学校づくりを推進するため、次のように対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校全体で学級規律を徹底し、全員が安心して学習に取り組む環境をつくります。 ○保護者が相談しやすい体制を整備します。相談する相手に迷った際の窓口は、「副校長」を周知します。 ○いじめ対応の方針を 4 月の保護者会等で示します。 												

3 校務 DX への取組

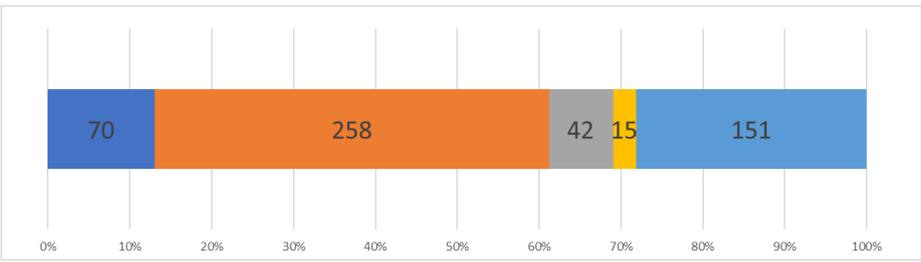
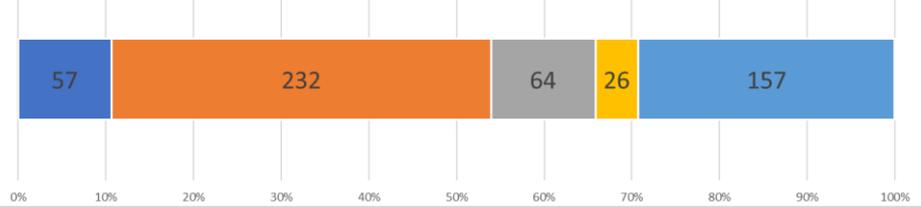
<p>⑨ 学校は、学校だよりなどの配布物や調査について、学校ホームページや Home&school(ホームアンドスクール)などを活用して、ペーパーレス化を推進していますか。</p>	<table border="1"> <caption>Question 9 Survey Results</caption> <thead> <tr> <th>Response Category</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Affirmative</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>Denial</td> <td>304</td> </tr> <tr> <td>Don't know</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	Response Category	Count	Affirmative	181	Denial	304	Don't know	36	Other	10
Response Category	Count										
Affirmative	181										
Denial	304										
Don't know	36										
Other	10										
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、90.5%でした。否定的な回答は、7.6%でした。分からないとの回答は、1.9%でした。</p> <p>自由意見は、21件でした。「オンラインでの保護者会開催により参加できる保護者が増えた。」「ペーパーレス化が助かる。」「Home&schoolの情報提供がよい。」等、肯定的なご回答を複数いただきました。</p> <p>一方で、「お知らせ等は用紙の方が分かりやすい。」「Home&schoolでも時間割や持ち物などが分かるようになるといい。」「チラシと配布プリントを全て電子化してほしい。」等のご意見もいただきました。</p>										
<p>今後の対応</p>	<p>学校は、校務DXの推進については、さらにペーパーレス化を求めるご意見とペーパーでの配布を希望するご意見があります。来年度は次のように整理し、対応します。</p> <p>【学校からの情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校（校長）、学年、担任からの周知は Home&school を基本とする。ただし、学校だより・給食の献立表はペーパーでも配布する。 <p>【アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケートは、一部を除き、Home&school で実施する。 <p>【各種団体からのお知らせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ペーパーで送られてくる各種団体からのお知らせは、ペーパーでの配布となります。なお、文科省、都教委、区教委等、公の機関に認められたもの、本校に特に関係する団体からのもの以外は配布しません。 <p>【保護者会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ハイブリッド開催を基本とします。 <p>【欠席連絡】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担任が、児童の登校開始前に出欠確認をするため、欠席連絡の入力時間は8時まででお願いします。8時以降は電話にてご連絡ください。 										

4 家庭・地域との協働

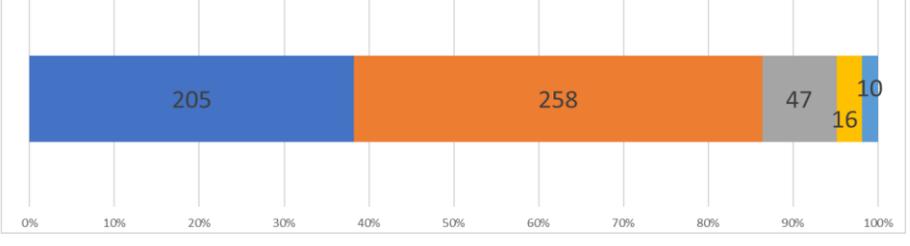
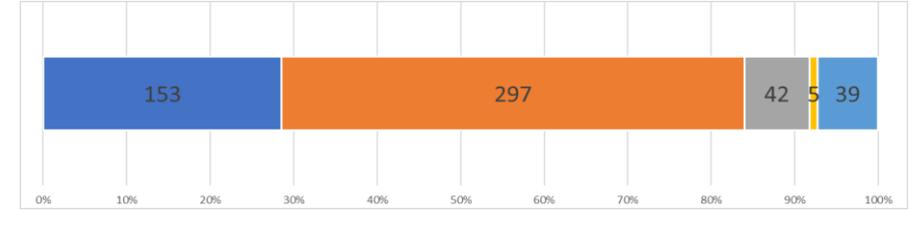
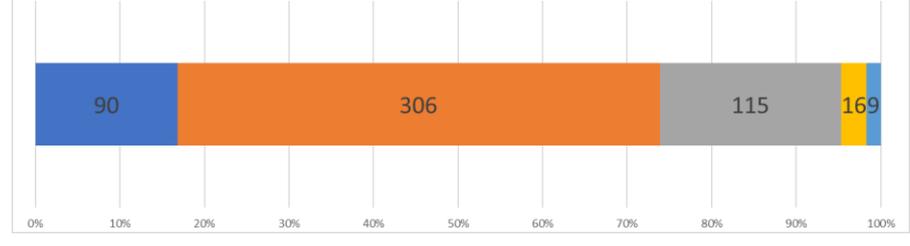
<p>⑩ 学校は、教育の方針を分かりやすく伝えていますか。</p>	<table border="1"> <caption>Question 10 Survey Results</caption> <thead> <tr> <th>Response Category</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Affirmative</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>Denial</td> <td>329</td> </tr> <tr> <td>Don't know</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>Other</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table>	Response Category	Count	Affirmative	88	Denial	329	Don't know	53	Other	57
Response Category	Count										
Affirmative	88										
Denial	329										
Don't know	53										
Other	57										
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、77.8%でした。否定的な回答は、11.6%でした。分からないとの回答は、10.6%でした。</p> <p>自由意見は、31件でした。「学校の活動や方針では、ホームページやお便りでお知らせいただいております。非常に助かっている。」「校長日記を楽しみにしています。子供たちの様子がよく分かるようになった。」等のご意見を数多くいただきました。</p> <p>一方で、「学校公開をもっと行ってほしい。」「保護者同士の繋がりが少ない。」「算数の習熟度授業のクラス分けの基準を知りたい。」等のご意見もいただきました。</p>										

<p>⑪ 学校は、家庭・地域の理解と協力を得て、教育活動を推進していますか。</p>	 <table border="1"> <caption>調査結果の割合</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的な回答</td> <td>89</td> <td>19.6%</td> </tr> <tr> <td>否定的な回答</td> <td>327</td> <td>72.3%</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>28</td> <td>6.1%</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>11</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>455</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	回答	人数	割合	肯定的な回答	89	19.6%	否定的な回答	327	72.3%	分からない	28	6.1%	分からない	11	2.4%	合計	455	100%
回答	人数	割合																	
肯定的な回答	89	19.6%																	
否定的な回答	327	72.3%																	
分からない	28	6.1%																	
分からない	11	2.4%																	
合計	455	100%																	
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、77.6%でした。否定的な回答は、7.3%でした。分からないとの回答は、15.1%でした。</p> <p>自由意見は、12件でした。「放課後クラブと連携してほしい。」、「放課後遊びの再開を検討してほしい。」、「コロナ禍であっても、学校は保護者、地域を巻き込んで新しい環境の在り方を探していく必要がある。」、「学校前の緑道公園計画が心配だ。」等のご意見をいただきました。</p>																		
<p>今後の対応</p>	<p>今年度は、まだ制約があるものの様々な行事を積極的に行ってきました。宿泊行事、校外学習、運動会、はたしろフェスタ、対面での学校公開等を計画通り実施しました。運動会では種目数を増やしました。さらには、バレエ鑑賞教室、ミュージカル鑑賞教室、子供を笑顔にするプロジェクトも行いました。</p> <p>しかし、社会的状況に応じて制限せざるを得ない状況もあります。来年度は、コロナ過の状況を鑑みながら、次のように対応します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 放課後遊びの再開を検討 ② 放課後クラブでのけが・トラブル等の情報共有の充実 ③ 地域と連携した530（ごみゼロ）運動や防災教育等の実施 <p>なお、緑道公園計画についてのご意見は、渋谷区へ伝えさせていただきます。学校としても放課後に子供たちが安全に遊ぶことのできる場所の確保は大切だと考えております。算数の習熟度別のクラス分けについては、4月に改めてお知らせします。</p>																		

5 【特色のある教育活動】

<p>⑫ 学校の教育活動は、学校の特色が表れたものになっていますか。</p>	 <table border="1"> <caption>Question 12 Response Data</caption> <thead> <tr> <th>Response Category</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes (Blue)</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>No (Orange)</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>Don't know (Grey)</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>Other (Yellow)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>Yes (Blue)</td> <td>151</td> </tr> </tbody> </table>	Response Category	Count	Yes (Blue)	70	No (Orange)	258	Don't know (Grey)	42	Other (Yellow)	15	Yes (Blue)	151
Response Category	Count												
Yes (Blue)	70												
No (Orange)	258												
Don't know (Grey)	42												
Other (Yellow)	15												
Yes (Blue)	151												
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、61.2%でした。否定的な回答は、10.6%でした。分からないとの回答は、28.2%でした。</p> <p>自由意見は、25件でした。「ミュージカルに行けてよかった。」「運動会は、もう少し力を入れてほしい。」「休み時間を長くしてほしい。」「人数に対して教室が狭い」「学校公開での制限やマスク着用を緩和してほしい」「面談を年2回実施してほしい。」等のご意見をいただきました。</p>												
<p>⑬ 学校は、デジタル・シティズンシップ※が身につくようにタブレット端末を適切に活用した教育活動を推進していますか</p>	 <table border="1"> <caption>Question 13 Response Data</caption> <thead> <tr> <th>Response Category</th> <th>Count</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Yes (Blue)</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>No (Orange)</td> <td>232</td> </tr> <tr> <td>Don't know (Grey)</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>Other (Yellow)</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>Yes (Blue)</td> <td>157</td> </tr> </tbody> </table>	Response Category	Count	Yes (Blue)	57	No (Orange)	232	Don't know (Grey)	64	Other (Yellow)	26	Yes (Blue)	157
Response Category	Count												
Yes (Blue)	57												
No (Orange)	232												
Don't know (Grey)	64												
Other (Yellow)	26												
Yes (Blue)	157												
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、53.9%でした。否定的な回答は、16.8%でした。分からないとの回答は、29.3%でした。</p> <p>自由意見は、18件でした。「タブレットの使い方が上手になっている。」「約束を守って利用している」等の肯定的なご意見をいただきました。</p> <p>一方で、「SNS利用についてのモラルを定期的に教えて欲しい。」「タブレットの使用ルールや制限を明確にして親とも共有してほしい。」「視力が心配である。」「タブレットも鉛筆で試行錯誤が出来ず、思考が浅くなるので、英語や辞書的な使い方に留めてほしい。」等のご意見もいただきました。</p>												
<p>今後の対応</p>	<p>本校では、都教委の指定を受け、令和2年度より3年間「教科担任制推進校」として、高学年を中心に教科担任制を実施し、よりよい在り方を追求しています。</p> <p>また、渋谷区では、デジタル・シティズンシップ教育を推進し、子供たちデジタルツールを正しく理解し、便利で楽しい社会生活ができるよう能力を付けることを目標にしています。</p> <p>残念ながら、この2点について理解が十分に得られていない状況を真摯に受け止め、次のように対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教科担任制の取組や効果を積極的に発信します。 ○ デジタル・シティズンシップ教育の推進に向け、SNSの利用や情報モラル教育、未来の担い手の育成に資する授業を学校公開で行います。 ○ 運動会等行事の充実を図ります。 ○ マスクの適切な利用や外遊びの推奨等、児童の健康意識を高める活動を進めます。 ○ 休み時間に屋上で遊べるようにします。 <p>なお、ご意見としていただいた「鉛筆をもって考えながら書くこと」や「紙面を読みながら情報を整理していくこと」等、学校では、従来の学び方も大切にしております。発達段階に応じて、デジタル技術が適切に身につくようバランスを考え、指導してまいります。</p>												

6 【お子様の様子】

<p>⑭ お子さんは、楽しく学校に通っていますか。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的な回答</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>否定的な回答</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>自由意見</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	回答	件数	肯定的な回答	205	否定的な回答	258	分からない	47	自由意見	10
回答	件数										
肯定的な回答	205										
否定的な回答	258										
分からない	47										
自由意見	10										
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、86.3%でした。否定的な回答は、11.8%でした。分からないとの回答は、1.9%でした。</p> <p>自由意見は、35 件でした。「元気に通っている。」「子供達に真摯に向き合って頂き、感謝している。」「楽しそうに通っている。」「給食もとても美味しいとたくさん食べて来ているみたいです。」等の肯定的なご意見を多数いただきました。</p> <p>一方で、「気持ちに折り合いをつけながら通っている感じです。」というご意見もいただきました。</p>										
<p>⑮ お子さんは、住んでいる地域や渋谷区への愛着が育っていますか</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的な回答</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>否定的な回答</td> <td>297</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>自由意見</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	回答	件数	肯定的な回答	153	否定的な回答	297	分からない	42	自由意見	39
回答	件数										
肯定的な回答	153										
否定的な回答	297										
分からない	42										
自由意見	39										
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、73.9%でした。否定的な回答は、8.7%でした。分からないとの回答は、7.3%でした。</p>										
<p>⑯ ご家庭では、タブレットやスマートホンの使い方やルールについて話合っていますか。</p>	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的な回答</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>否定的な回答</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>分からない</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>自由意見</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>	回答	件数	肯定的な回答	90	否定的な回答	306	分からない	115	自由意見	169
回答	件数										
肯定的な回答	90										
否定的な回答	306										
分からない	115										
自由意見	169										
<p>結果</p>	<p>肯定的な回答は、73.9%でした。否定的な回答は、24.5%でした。分からないとの回答は、1.7%でした。</p> <p>自由意見は、14 件でした。「タブレットの使用時間が長い。」「他の家庭で、どのようなタブレットやスマホのルールを設けているのか、知りたい。」「マイクラフトに夢中になりすぎ、困る。」等のご意見をいただきました。</p>										
<p>今後の対応</p>	<p>この3つの質問は、本校独自の質問です。</p> <p>子供が楽しく学校に通えているとの肯定的な回答が多くありました。しかし、楽しく学校に通えていない子もいることを真摯に受け止めてまいります。この3つの質問への回答を受け、次のような対応をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員が児童一人一人に寄り添う指導をさらに進めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 認めて、褒める機会を増やします。 ・ すぐに叱ることをせずに話をよく聞きます。 ○ 生活科と総合的な学習の時間を中心に地域に関わる探究的な学びとして取り組んでいるシブヤ科の学習を、学校公開等でご覧いただきます。 ○ 学校でのタブレットの約束は、再度周知いたします。また、タブレットに搭載のアプリケーションやご家庭での利用時間制限等のご意見は、渋谷区教育委員へ伝えます。 										

まとめ(校長から)

今年度からアンケートの設問が渋谷区共通となったため、昨年度と質問内容が変更されています。そのため、昨年度と比較できませんので、単年度の報告となります。

ただし、最後の3項目は本校独自の設問です。中でも「⑭ お子さんは、楽しく学校に通っていますか。」を最も大切に考えています。肯定的な回答を数多くいただきましたが、100%ではありません。全員が楽しく通える学校を目指していきます。

次に共通項目とはいえ、シブヤ科やデジタル・シティズンシップ、いじめ防止対応等では、「分からない」との回答が多くありました。学校のことについて知っていただけていないことがよく分かりました。今後も行事や学校公開の実施を積極的に進めるとともに、ホームページや Home&school でもお子様の様子を発信してまいります。校長日記については、楽しみにしている等のご意見をたくさんいただきました。ありがとうございます。さらに頑張る力になりました。

また、本アンケートで教職員への労いや暖かなメッセージをいただいたことに心から感謝いたします。一方で、教職員の指導に関することや対応、日常のお困り等についてのご意見も伺いました。こうしたご意見は、すぐに教職員と共有し、来年度を待たずに改善してまいります。

今回の学校評価の結果も踏まえた来年度の学校経営方針や具体的な教育活動の変更点については、3月の幡代だよりおよび保護者会でお知らせいたします。